



全教北九州

新聞 全教北九州
全教北九州市教職員組合
発行責任者 中川喜久子
2024年3月19日

全教北九州

検索

軍拡より震災復興を 特集

この新聞はすべての教職員に配布しています

戦争を放棄した国で着実に進む戦争への備え



の大綱、中期防衛力整備計画)に基づき、軍事利用に適した空港・港湾を「特定利用空港・港湾」に指定し、改修・整備を

22年12月に決定された「安保3文書(国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画)に基づき、軍事利用に適した空港・港湾を「特定利用空港・港湾」に指定し、改修・整備を

影響を不安を感じたといっています。戦時利用に合わせたインフラ整備

進む南西諸島・先島諸島の「要塞化」 「台湾有事」への備え・島嶼防衛力強化として、南西諸島・先島諸島では部隊の新設・転入、基地の新設など自衛隊の強化が行われています。また23年6月、航空自衛隊は北朝鮮のミサイルに備えとして、石垣島の基地が建設中であることを理由に石垣港「南ぬ浜町新港地区」に「PAC-3」を展開しました(9月に基地内に移動)。この地区は旅客船ターミナルやマリナー、人エビーチ、石油・ガス関連施設の集約地、物流拠点など、さまざまな機能を有し、自衛隊誘致に賛成した住民でさえ、生活や安全への影響を不安を感じたといっています。

民生施設を自衛隊等のニーズに合わせて改修・整備 航空自衛隊は2月28日、地对空ミサイル「PAC-3」の展開訓練を福岡市東区の「海の中道海浜公園」で行いました。空自によると、自衛隊や米軍関連施設以外で実施するのは全国8例目で、福岡県内では初といっています。

「特定利用空港・港湾」候補地

日本平和新聞2343号(日本平和委員会2024年)の表をもとに作成

	空港	港湾
北海道	釧路空港	留萌港・釧路港・室蘭港・苫小牧港・石狩湾新港
福井	—	敦賀港
香川	—	高松港
高知	高知空港	高知港・宿毛湾港・須崎港
福岡	北九州空港	博多港
長崎	長崎空港・福江空港	—
熊本	熊本空港	熊本港・八代港
宮崎	宮崎空港	—
鹿児島	鹿児島空港・徳之島空港	鹿児島港・志布志港・川内港・名瀬港・西之表港・和泊港
沖縄	与那国空港・新石垣空港・波照間空港・宮古空港・下地島空港・那覇空港・久米島空港	与那国新港・石垣港・平良港・那覇港・中城湾港

始めようとしています。「特定利用空港・港湾」の候補地は九州が多く北九州空港も入っています。1月29日に「日本平和委員会」が政府(国家安全保障局、防衛・外務・国土交通省)と交渉を行い、計画の中止を求めました。政府側は、「(計画は)あくまでも民生利用を主としつつ、あわせて自衛隊などのニーズに合った改修・整備を行うもの」「戦時に優先利用するとは一概には言えない」等と述べました

が、「特定利用空港・港湾」が「平素から訓練で使用することによって有事の際に空港・港湾を円滑に利用できるようにするため」だとも認めました。そして「自治体が拒否すれば指定することはできない」と明言しました。まずは「有事」を招かない外交努力 また、政府が「国民保護法」に基づき検討中の先島諸島から九州各県と山口県に約12万人を避難させる計画があります。今後、各県と協議を進めて移動手段や県別の避難人数を確認し、24年度中の決定を目指しています。計画は必要なのかもしませんが、まずは「有事」を招かないための外交努力が必要です。また、私たちが常に情報に敏感になっておきたいものです。

北九州の戦争遺跡

小倉造兵廠① (小倉北区)

1923年の関東大震災により「東京砲兵工廠」の小石川地区は壊滅しました。陸軍は復旧より新築移転の方が経済的と判断し、広島以西を移転先として検討しました。小倉市は工廠誘致を工業発展の契機と捉え、24年に市長、市議会議長、商工会長、板櫃町長、足立村長の連名で衆議院に「小倉兵器製造所」を拡張し新工廠とするよう請願書を提出しました。また小倉出身の奥保鞏(おくやすかた)元帥陸軍大将、杉山元(すぎやまげん)はじめ)陸軍中将に働きかけを行いました。これらの活動により、一時は広島移転が決まりかけていたものが覆すことに成功しました。跡地には、「後樂園スタジアム(現東京ドーム)」(37年)、遊園地(55年)等が設置されました。また敷地内で保存されていた水戸藩邸の庭園は国の文化財(特別史跡・特別名勝)に指定され都立小石川後樂園」として現在に至ります。

能登半島地震

支援は必要と要求に基づいてこそ

退職教員の能登地震ボランティア報告

能登半島地震のボランティアとして2月中旬から被災地で活動した退職教員の方のレポートをご紹介します。

民館に着いた。

私は2月15日から能登半島地震のボランティアのため金沢で高齢者施設での活動を行った。県のボランティアセンターが行う被災地訪問支援は、抽選制で10倍の狭き門。これまでいずれも外れていた。

そんな矢先、「抱樸」奥田さんのYouTUBE視聴で、「共生地域創造財団」が、被災地で支援活動を行っていることを知り、急遽連絡を取り、二日後の輪島市への炊き出しに参加できることになった。

集合は4時45分。輪島市に近づくにつれ倒壊家屋が車窓から見えてきた。途中道路の補修箇所は数えられないほどだった。約2時間かけて輪島市の諸岡公



元の方が朝ご飯を食べていたようだった。いったんテントに戻ると「まだ時間はあるでしょう、こっちにも生活があるんで、今は調理室に入るのはやめていた

言われた。長い避難生活で自分たちの時間より支援のための活動を優先してはそれがかえってストレスになる、ということだろう。支援はほそこにいる方々が何を望んでいるのか、必要と要求に基づくものであると改めて実感することとなった。

昼食の完成は11時40分。まず小学校から市の職員の方が50食の受け取り、次は洗濯用の水などのタンクをいれかえに来ていた作業員の方々、その後避難所や自宅から多くの方々が取りに

来た。終了。断水中なので基本持ち帰るのだが、借りた釜を返すため、ペットボトルの水を注ぎ、捨ててはペーパータオルでふき取っていった。断水でなければこんなにかさずすることはないだろう。震災から2ヶ月。ここでの日々の生活がいかに容易でないことを改めて実感することとなった。

教職員の大幅増員と給特法改正で長時間労働解消を

3/7 24春闘勝利！3・7中央行動

3/13 中教審特別部会オンライン傍聴

24春闘

23年度も教員不足で負担が増した職場が多かったです。しかし、文科省や市教委が出す教員不足の解決策は現場の希望とはかけ離れているものばかりです。給特法も含めて、自分たちの処遇について考えていきたいものです。

3・7中央行動(3/7)

3月7日(木) 24春闘勝利！

3・7中央行動(主催:国民春闘共闘、全労連、全国食健連等)が行われ、全教北九州からも3人が参加しました。

物価高騰を補い、生活改善で

きる賃金の大幅引き上げで、誰もが人間らしく暮らせる生活、男女の賃金格差の是正、ケア労働者の大幅賃金引上げ、非正規職員を含むすべての公務員賃金の大幅引上げ、地域間格差是正などを求めました。



中教審特別部会傍聴(3/13)

3月13日(水)、オンラインで「中央教育審議会初等中等教育分科会 質の高い教師の確保特別部会(第10回)」を傍聴しました。教師の処遇改善にあり

方について委員の意見交換が行われました。頷ける意見もありましたが、「担任手当」チーム担任制等の意見を聞いていて、現場の実態との違和感を感じました。

真の平和外交は、はっきりとした意思表示から

3/16 2023年度憲法闘争集会レポート

3月16日(土)2023年度憲法闘争集会(全教・教組共闘主催)がオンラインで開催されました。北九州市から10名が参加しました。

まず、猿田佐世さん(弁護士・ND新外交ユニシアティブ代表・立教大学講師)の「戦争を回避するのは平和外交」そのために私たちにできること」をテーマにした講演がありました。

自民公明両党は、日英伊で共同開発する次期戦闘機を条件付きで第三国への輸出を容認することです。共同開発した兵器類の日本から第三国への直接輸出には、こ

れまで歯止めがかけられてきました。他国の紛争を助長することがあってはならないという理由からです。しかし、今、その道が開かれようとしています。国会でも論議されている状況です。

猿田さんは、東南アジア諸国のように「しない」「仲間に入らない」とはっきり意思表示することが真の平和外交につながるかと話されました。遺憾・懸念・検討・注視では平和はつくることができないと感じました。その後、各地のとりくみや「運動交流」があり集会は終わりました。